

自然環境保全に関する基本的な考え方(案) 【淡路島公園】

**令和8年1月19日
兵庫県まちづくり部公園緑地課**



淡路島公園の価値

- 淡路島公園は、貴重な生態系と自然豊かな景観が残されており、地域住民や県内外の多様な人びとがその自然の中を散策し、また環境学習のフィールドとして利用するなど、高い自然的価値を有した公園である。
- 「ニジゲンノモリ」の開設により地域外や海外からの来訪者にも広く知られるようになり、高い集客力を有する公園としての存在感を高めている。
- 淡路インターチェンジからのアクセスのよさも、公園の魅力を支える重要な要素となっている。

今後の方向性

- 今後は、公園の価値を基礎づけている豊かな自然環境を大切にしながら、地域の日常的な利用を維持するとともに、多様な人びとが淡路島を訪れるきっかけとなるようなシンボルとしての機能を両立させることが求められる。
- そのため、広大な敷地におけるそれぞれのエリアの特性をふまえ、公園の価値を高めるための方策を検討し、重点と緩急をつけ、効率的かつ持続可能な運営を図る。**（新たなゾーニングの作成）**
- また、公園の環境維持と活用の両立に向けて、県、指定管理者、利用者、ニジゲンノモリ、そして専門家が常に対話を重ね、自然環境と社会環境の変化に順応的に対応するためのしくみづくりを行う。**（新たなコミュニケーションのしくみづくり）**
- あわせて、公園利用のさらなる活性化およびDEI（多様性・公平性・包摂性）の観点から、園内の移動方法や施設の修繕についても検討を進め、誰もが安心して快適に過ごせる公園を目指す。



ゾーニング図の作成

- 公園の自然的価値と活用の両立に向けてエリアを整理し、「**県立淡路島公園ビジョン**」に**かわるゾーニング図**（ゾーニング図 A（目的別の区分）、B（時期・時間帯別の区分））**を作成**する。
→ **新しいゾーニング図の作成により「県立淡路島公園ビジョン」は廃止**する。
- 各エリアの利用において、「**配慮・留意すべき対象（非公開）**」を**整理**する。
- 今後のゾーニング図の変更は、管理運営協議会で協議の上、決定する。

生態系改変にかかる合意形成・情報発信のルール

- 樹木管理は、基本的に、淡路島公園の樹木管理方針等を尊重し、管理水準書に基づいた管理を現行と同様の方法で実施し、**新たなルールは設定しない**。
- 伐採計画等は、年度末等の管理運営協議会において事前に説明・報告する。
- 淡路アニメパーク構想に関連する設置物等（常設の設置物を除く）の協議についても現行と同様の方法で実施する。
（常設の設置物かかる協議については「活性化」で記載）

○淡路島公園ゾーニング図A（目的別の区分）

・利用目的別にエリアを整理する。

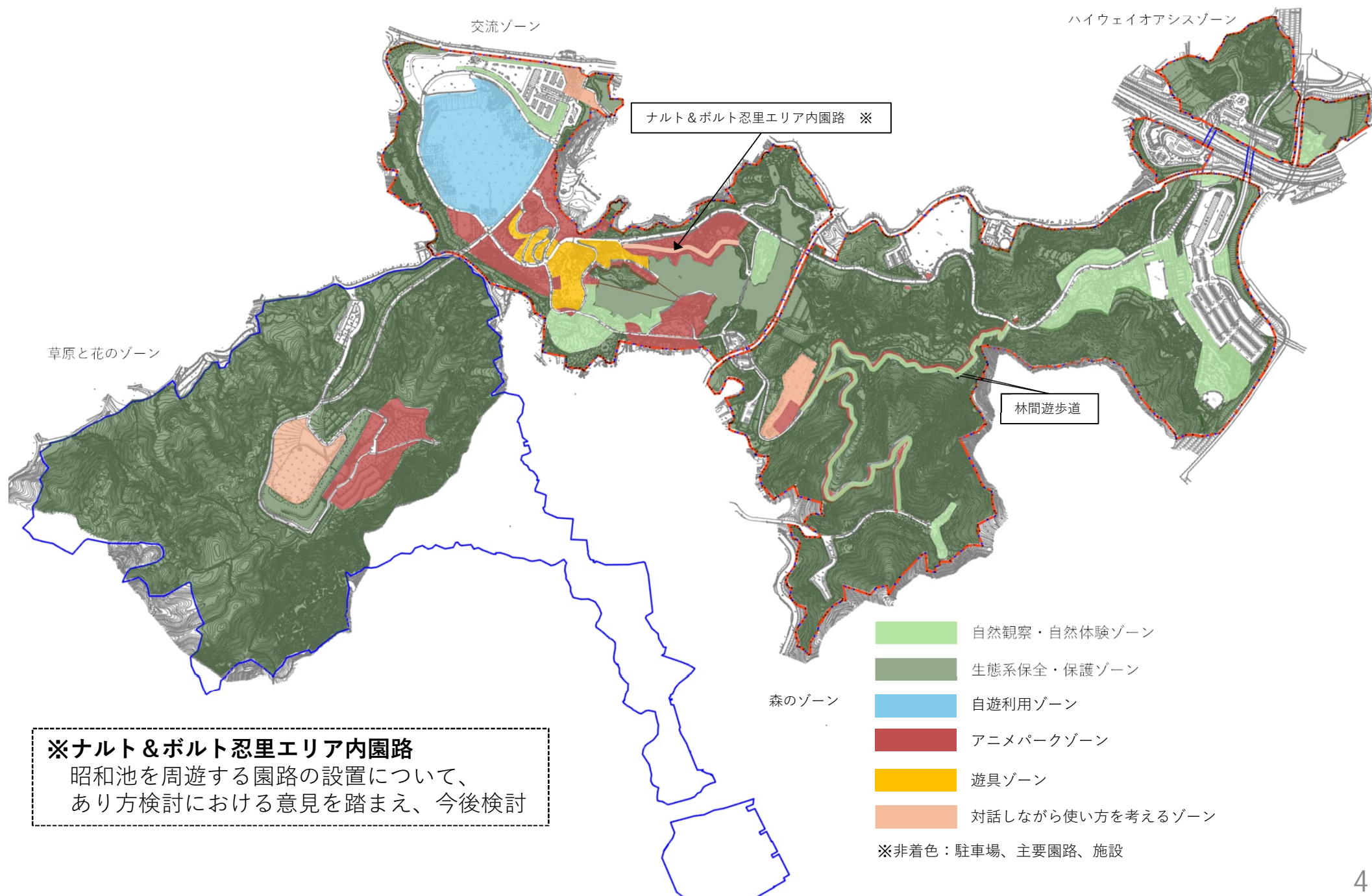
区分	目的	活動・管理主体
自然観察・自然体験ゾーン	動植物の観察や自然体験を通じて、公園の自然を楽しむエリア	指定管理者（県）、住民団体
生態系保全・保護ゾーン	公園の自然環境や生態系を適切に維持管理するエリア	指定管理者（県）、住民団体
自遊利用ゾーン	来園者が自由に過ごし、遊ぶエリア	指定管理者（県）
アニメパークゾーン	アニメパーク構想で活用するエリア	株式会社ニジゲンノモリ
遊具ゾーン	多様な世代が楽しめ、体を動かすことができる遊具を設置するエリア	県
対話しながら使い方を考えるゾーン	利用者や関係者が意見交換しながら、ゾーンの活用方法や将来の使い方を検討するエリア	株式会社ニジゲンノモリ、県、指定管理者、住民団体

○淡路島公園ゾーニング図B（時期・時間帯別の区分）

・時期や時間帯によって、エリア・施設の利用方法が異なるエリアを整理する。

エリア・施設	時期・時間帯	備考
林間 遊歩道	9:00～15:00: 自然観察・自然体験ゾーン	
	15:00～17:00: 自然観察・自然体験ゾーン/アニメパークゾーン（準備）	日没時間を踏まえ、県と(株)ニジゲンノモリの事前協議により変更可能
	17:00～22:00: アニメパークゾーン	
ジップライン	オシドリの飛来時期は休止	各年の休止期間は、野鳥の専門家の助言のもと、(株)ニジゲンノモリが決定
展望デッキ	17:00～22:00: アニメパークゾーン	

淡路島公園ゾーニング図A（目的別の区分）



淡路島公園ゾーニング図B（時期・時間帯別の区分）

